塾生募集!!

令和7年度

河川塾

ー河川を取り巻く状況を捉え、河川を扱う技術力を伸ばすー

公益財団法人河川財団では、河川総合研究所所長　天野邦彦による河川塾を開講します。

計13回の講義（うち 2 回は河川現場での指導を予定）では、現在の日本の河川を取り巻く状況について捉え、これから河川を管理していく上で、どのような技術が必要となるかについて、塾生が自ら考え、その過程を通して課題を解決する力を伸ばしていくことを目指します。このため、講義に加えて、特に掘り下げたいと考えている課題を各塾生から提出いただき、このような課題に関する議論を通して、河川を扱う技術力を伸ばす演習※を行います。

※演習の具体的な方法については、提出された課題を踏まえて、塾生の皆さんと相談の上で決定します。

募集期限
5/16（金）

開催内容（予定）

講　義　原則 水 曜日開催（年間活動計画参照）
15：30 ～ 17：30（2時間）

場　所　公益財団法人河川財団　会議室　2階
東京メトロ日比谷線　小伝馬町駅　徒歩 1 分

アクセス

期　間　5月28日（水）～11月12日（水）まで（予定）

応募資格　上記の趣旨に適い、意欲のある技術者等

定員　15 名程度　※定員を超えた場合は、参加いただけないケースが出てくることをご容赦願います。

参加費　7 万円（税込）　※現地調査の旅費は含みません。

申込方法

下記の情報を添えて河川財団ホームページよりお申し込みください。

①お名前
②ふりがな
③メールアドレス
④連絡先（電話番号）
⑤会社名
⑥部署
⑦職位
⑧技術者としての経験
⑨参加理由
⑩掘り下げたい課題

申込み専用フォーム

https://www.kasen.or.jp/r7_kasenjyuku

公益財団法人河川財団　河川総合研究所　所長　**天野 邦彦**

経歴

1985 年　京都大学　工学部　土木工学科卒
1987 年　京都大学大学院　工学研究科　土木工学専攻修了
同年　建設省入省（土木研究所ダム部水資源開発研究室　研究員）
2003 年　土木研究所　水循環研究グループ河川生態チーム　上席研究員
2009 年　国土交通省　国土技術政策総合研究所
環境研究部　河川環境研究室　室長
2012 年　国土交通省　中部地方整備局　浜松河川国道事務所　所長
2016 年～ 国土交通省　国土技術政策総合研究所
河川研究部長・研究総務官・所長を経て
現在　公益財団法人河川財団　河川総合研究所　所長

年間活動計画（予定）

月	日	開催回	内容（予定）	月	日	開催回	内容（予定）
5	28	第 1 回	河川の基礎	9	3	第 8 回	ダム
6	11	第 2 回	①現地調査		17	第 9 回	ダム下流河川
	25	第 3 回	河川の水理	10	2	第 10 回	②現地調査
7	9	第 4 回	河床変動		3		
	23	第 5 回	河川環境		15	第 11 回	水害とリスク
8	6	第 6 回	河川環境の保全		29	第 12 回	モデルと評価
	20	第 7 回	堤防	11	12	第 13 回	演習・総括

※現地調査②の対象河川は、塾生の希望を考慮して決定します。

令和7年度河川塾は、
土木学会CPD認定プログラムです（申請中）。

※土木学会以外に、CPD単位を登録する際は、受講したことがプログラムとして認められるかどうかは、各団体のルールに従ってください。

公益財団法人 河川財団
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町11-9　住友生命日本橋小伝馬町ビル　2階
TEL 03-5847-8304　FAX 03-5847-8310
お問合せ先　E-mail:kasen-entry@kasen.or.jp
河川塾事務局担当　本間・小川

令和６年度の実施状況

入塾式・講義開始　５月

天野塾長執筆による資料をもとに河川技術に関する体系的な講義をおこないました。

５月

９月中旬　多摩川現地視察

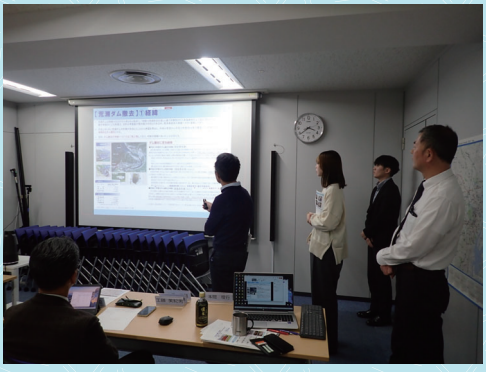
二ヶ領宿河原堰から河口までの現地視察を行い、セグメントの違い等の河川特性を理解しました。

球磨川・川辺川現地視察（１泊２日）　１０月上旬

１０月

河口から上流までを２日間にかけてまわり、流砂系の全体像や、河川改修の経緯と効果、被災状況と災害復旧状況を確認しました。
また、川辺川ダム砂防事務所様よりダム予定地と模型実験施設についてご案内いただきました。

１１月中旬　グループワーキング



治水や環境、維持管理等のテーマを予め設定し、現地視察結果を踏まえたグループ討議をおこないました。

修了式　１１月

１１月

令和６年度は１７名の塾生を輩出しました。

※10 月上旬の視察対象河川は、塾生の希望を考慮して決定します。